

令和5年度福井県教員育成協議会 概要

令和6年2月5日（月）

10：30～12：00

オンライン会議

1 開会

2 委員紹介

3 議事

(1) 福井県教員育成指標の活用状況について

- ・資料1-1～資料1-3に係る事務局説明

(2) 令和6年度の指標について

- ・資料1-1、資料2-1～資料2-4に係る事務局説明

〈主な意見〉

- ・（委員）養護教諭・栄養教諭ともに、学校の状況によっては確かに学年会のメンバーになることもある。しかし、専門領域において教諭よりも多くのカテゴリーの記載がある中で、メンバーになるかどうか分からない学年会に関する記載の必要があるかは疑問である。養護教諭・栄養教諭の負担が大きいと捉えられてしまう恐れもある。
- ・（事務局）学年会に入る可能性があることを想定した記載である。いただいた意見を参考に再度検討する。
- ・（委員）養護教諭・栄養教諭の指標策定にあたって、経験者の意見聴取等があったか。
- ・（事務局）教育庁保健体育課に在籍する養護教諭・栄養教諭の経験者ととともに策定した。
- ・（委員）養護教諭・栄養教諭の指標において、管理職の指標を一体的に示す必要があるか。加えて、学級経営等に関することは「意識することが望ましい」といった注釈を付けてもよいかもしれない。
- ・（事務局）これまでの指標も、採用段階から管理職までが見通せるような一体的なものになるように策定してきた。養護教諭・栄養教諭についても、管理職になっていく方向性を示したいという意図もあり、1枚の指標にまとめている。

(3) 令和7年度以降の指標について

- ・ **資料2-1**～**資料2-2**に係る事務局説明

〈主な意見〉

- ・ (委員) 育成指標も国の指針も個人の資質・能力に重きが置かれていて、教員が集団として子どもたちを育てていくという要素が表現しきれていない印象を受ける。これからの教師は、同僚との協働はもちろん、子どもたちとともに教育をつくっていくことが大切である。そういった要素を福井県の指標で上手く表現できれば、教員養成や教師教育において重要な契機になる。福井県で行っている探究活動における協働も表現できる。また、例えば“クラスの問題は担任だけの責任になる”“学年の問題は学年会だけの責任になる”といったことを避けるためにも、協働性・同僚性といった部分を強調できるとよい。
- ・ (委員) 一人で問題を抱え込んでしまいメンタル面に不調をきたす教員も少なくない中で、協働性・同僚性という要素が見えるものになるとよい。
- ・ (委員) 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応の部分は、配慮を必要とする本人だけではなく、その周囲の子どもたちが安心して過ごせる環境にするための配慮といった要素・視点も盛り込めるとよい。